

アナログでの管理から劇的に変化
自社の要望が網羅されたサービスだった



株式会社 コスメックエンジニアリング



社名	株式会社コスメック/株式会社コスメックエンジニアリング
業種	精密部品
従業員数	270名

株式会社
コスメック
エンジニアリング様の
インタビュー全編は
こちら →



Point

- コスト削減効果：切削工具集約による調達コスト削減
- データ活用効果：使用量データ活用(製造ライン異常検知)
- 在庫管理業務削減効果：メンタルコストからの解放

導入前の課題

カードを使った注文、アナログな管理に
限界を感じていた

渡辺さま：当社では日常的に使われる工具のアイテム数だけでも2,500種ほどあり、注文は発注カードを用いて行っていました。しかし、発注カードの運用ルールが徹底されておらず、発注カードの提出が後回しになることによる欠品や、欠品を避けるための過剰発注が発生していました。

高居さま：工具の欠品の影響で、製品の納期遅れも起きていました。そんなと社内で納期調整の作業が新たに必要になりますし、お客様はもちろん、早急に工具を手配してくださる協力会社にもご迷惑をおかけすることになり、申し訳なさを感じることもありました。

導入の決め手

在庫管理の手間削減+自社在庫ゼロ+
使用状況の見える化

高居さま：MISUMI flowは重量センサーを使用して計数できるため、現場担当者が在庫数をカウントする必要がなく、数え間違いも起きないと感じました。また、自販機内の製品はミスマの在庫であるため、当社では棚卸しの必要もなくなります。さらに、ダッシュボードを活用することで、個人や設備ごとの日次使用量を把握し、異常に対して迅速に対応できることも大きなメリットでした。

渡辺さま：MISUMI flowの自販機によって必要な物を必要な時に購入できるようになり、その結果、段取りに集中でき、生産性が向上すると感じました。

導入後の効果・社内の反応

あらゆる問題が解決し、
在庫管理のプレッシャーの削減にも

高居さま：管理が効率化され時間に余裕ができた分、高度な管理が可能になりました。以前は在庫として購入していたため、日次の生産高と工具費が連動していませんでしたが、必要な物だけを購入することで、生産高と工具費を連動させて分析ができる体制になりました。現在、各種システムの刷新とDX化を進めているのですが、注文業務が軽減されたことで、購買担当者はそちらの業務に注力できるようになったようです。

渡辺さま：自販機内の在庫数は過去の使用実績の2.5カ月分に設定されており、生産量の急な増加にも十分対応可能です。在庫数の減少が想定より早い場合は緊急便で補充されるため、欠品のリスクも大幅に軽減されています。これらの効果により、普段見過ごされがちな「在庫管理のプレッシャー」の削減が実現されていると感じています。

今後の展望

データを活用し、さらなる生産性の
向上につなげたい

高居さま：今後は、MISUMI flowのデータをもとに使用頻度の高い工具を見極めることで、加工プログラムや切削条件のアプローチ変更といった加工改善をしていきたいです。またゆくゆくはMISUMI flowで取り扱うラインナップを広げることで、さらなる管理の効率化と生産性の向上につなげたいです。ミスマとは長い付き合いなので、今後もコミュニケーションを密に取りつつ、さらに高度な生産活動を実現し、競争力の強化と持続可能な成長を目指していきます。

